

道しるべ

第2号

令和5年7月21日発行
進路指導部

高等部1年 I期 校内実習

6月5日(月)から16日(金)の二週間、高等部1年I期校内実習を行いました。作業はポリパック班、製造班、農園芸班の三つの班で行い、今年度もダイコク化成様、リード本荘様、藤原農園様から資材提供の協力をいただき、実際の仕事に触れました。生徒たちは初めての实習で、最初は戸惑う様子もありましたが、毎日積み重ねることで、作業の効率を考えて進めるようになり、出来高を意識し、目標数を超えようと仕事に向かったりする姿が見られました。その他にも、相手に聞こえるように自分から挨拶したり、時間を見て5分前行動したりするなど、様々な成果を感じられる実習となりました。また、納品先から「ありがとう」「またお願いします」など、感謝の言葉をいただき、働く喜びややりがいにつながりました。



ポリパック班



製造班



農園芸班

いただいた仕事に責任をもち、最後まで取り組みました。

中学部I期 作業学習・自立活動 パワーアップ週間

5月29日(月)から6月2日(金)までの5日間、「中学部作業学習・I期パワーアップ週間」が行われました。農園芸班、木工班、陶芸班、手芸班の四つの作業班に分かれて行いました。「作業学習5箇条～五つの頑張ること～」として「自分からはっきりと挨拶、返事、丁寧な言葉遣いをする」「身だしなみを整える」「時間を守る」「集中して最後まで仕事をする」「ありがとうございます、すみませんを忘れない」を合い言葉に、2・3年生は自分の役割が分かり作業を行い、1年生は初めてのパワーアップ週間でしたが先輩の様子を見て、挨拶や時間を意識して行動する姿が見られました。生徒からは「疲れたけど、最後まで頑張った」など達成感を感じられる感想が聞かれました。

パワーアップ週間を見学した保護者や先生方からは、「集中して作業していた」「挨拶がよかった」など生徒たちの成長が見られる意見がたくさんありました。



木工班



農園芸班

第 22 回秋田県障害者技能競技大会出場

障害者技能競技大会（アビリンピック）とは：障害のある方が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方々に対する理解と認識を深め、雇用の促進を図るための大会です。



学校で使う用具と違い、少し焦りましたが、いつもよりモップの掛け残しを少なくできました。全力を出せたのでとてもいい経験になりました。
會澤龍之介

7月5日（水）秋田市にぎわい交流館AUで行われた標記大会に、本校を代表して、高等部2年生會澤龍之介さん、3年生石川陸斗さんの2名が、ビルクリーニング競技に出場しました。

惜しくも2名とも僅差（講評から）で入賞を逃したものの、今年度から制限なしとなり多くの観衆から注目を浴びる中であっても動じることなく、日ごろの学習とこれまでの練習の成果を堂々と発揮しました。

初めての出場で不安と緊張もありましたが、練習してきたことを生かして、普段通り清掃できました。入賞できませんでしたが、学校の代表として出場できてよかったです。
石川陸斗

少し先のことになりますが、12月6日（水）には、カダーレを会場に、「県央地区特別支援学校就労促進フェア」を開催します。ビルクリーニング競技が行われる技能競技会（錬成会）も実施されます。生徒たちが培ってきた働く力を発信する機会としたいと考えています。詳細について追ってお知らせします。



感染症対応の移行により、校内・現場実習をはじめ様々な学習活動が再開された1学期でした。同窓会の活動も再開し、7月22日（土）には、「同窓会総会・二十歳を祝う会」を開催します。会の様子は次号以降でお知らせします。